

2025年3月期
第2四半期決算説明資料

TOYO
東洋機械金属株式会社

2024年10月30日

証券コード
6210

インデックス

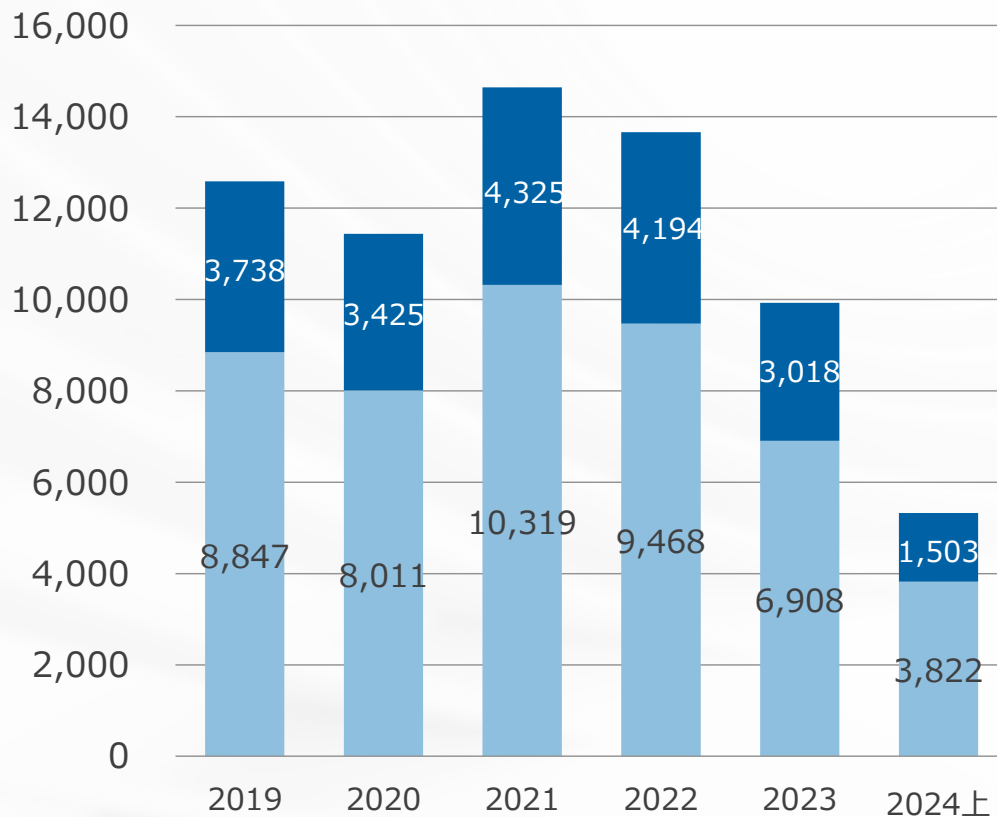
1. 2025年3月期 第2四半期業績概要	2
2. 2025年3月期 通期業績予想	9
3. トピックス	14
4. <Appendix>	17

1. 2025年3月期 第2四半期業績概要

事業環境の概要

景気は自動車関連を中心に一部のエリアにおいて回復の兆しがあるものの、金利高止まりや物価上昇等の影響を受け、射出成形機の需要は予断を許さない状況

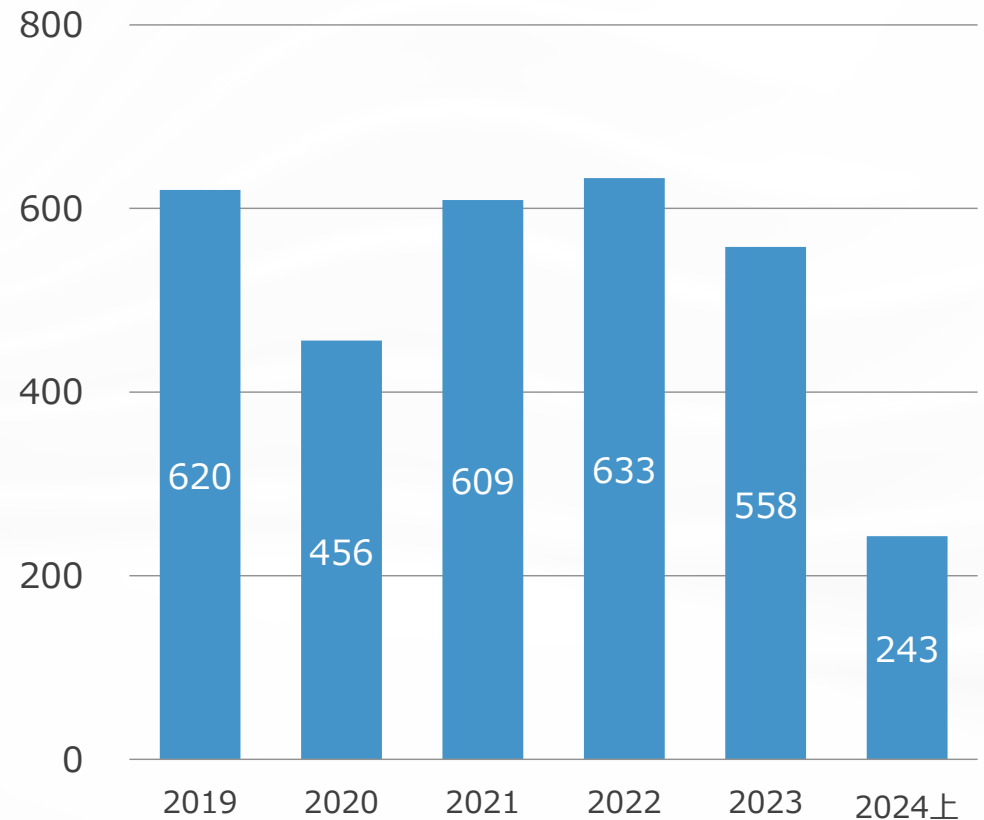
射出成形機出荷台数



■ 射出成形機200t未満 ■ 射出成形機200t以上

出典：日本産業機械工業会

ダイカストマシン出荷台数



■ ダイカストマシン

出典：日本ダイカストマシン工業会

2025年3月期 第2四半期経営成績

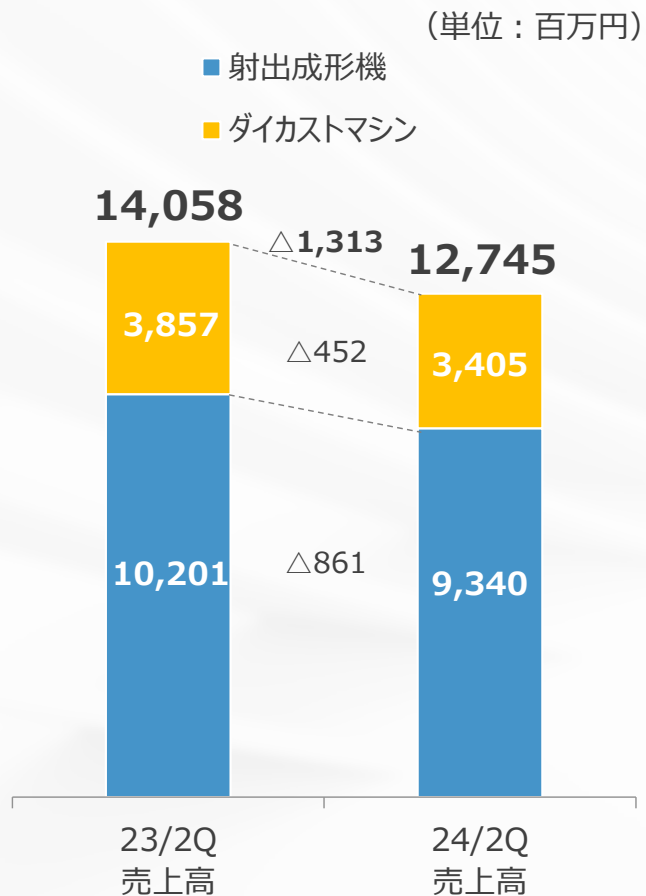
売上は国内で増加したものの、欧米の生活用品関連、中国・アジアの自動車関連が減少
利益は売上高の減少、生産量減少に伴う固定費回収不足の影響などにより赤字となる

項目 (単位：百万円)	2023/2Q 実績	2024/2Q 実績	前期比 増減	前期比 増減率	2024/2Q 予想	計画比 増減
受注高	13,084	14,921	△1,837	+14.0%	17,500	△2,579
売上高	14,058	12,745	△1,313	△9.3%	13,500	△755
営業利益	2	△431	△433	—	△250	△181
営業利益率	0.0%	△3.4%	△3.4P	—	△1.9%	△1.5%
経常利益	55	△396	△452	—	△200	△196
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△318	△518	△200	—	△350	△168
1株当たり四半期 純利益	△15.51円	△25.24円	△9.73円	—	△17.04円	△8.20円
<参考> 為替レート(USD)	150円	143円	△7円	△4.7%	145円	△2円

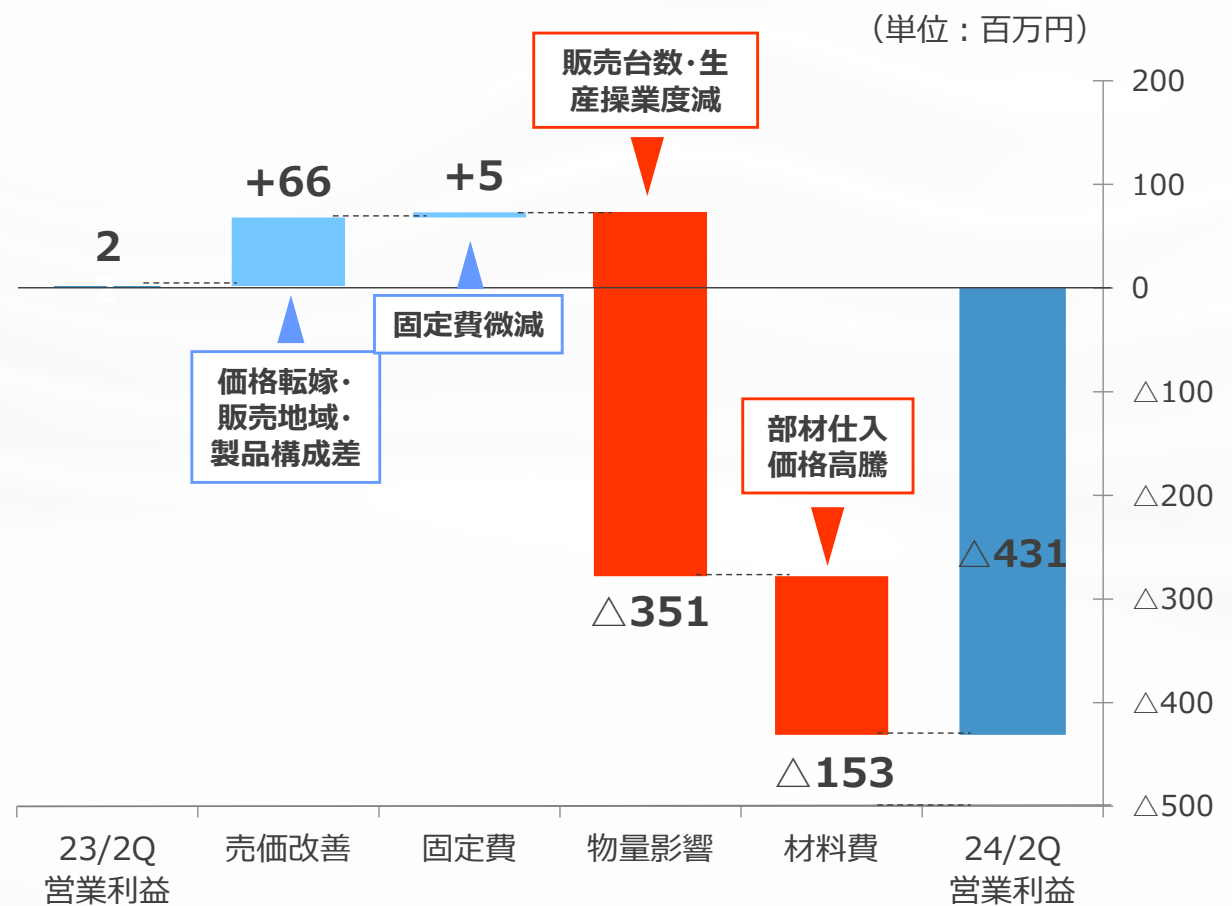
売上高・営業利益の増減要因分析

売上高は射出成形機及びダイカストマシン共に減少
 営業利益は販売台数減・生産操業度減、部材仕入価格高騰が影響し、マイナスを計上

売上高



営業利益増減要因分析



製品別受注高・売上高・受注残高

受注高は149億円（前期比+18億円）、受注残高は88億円（前期比+8億円）

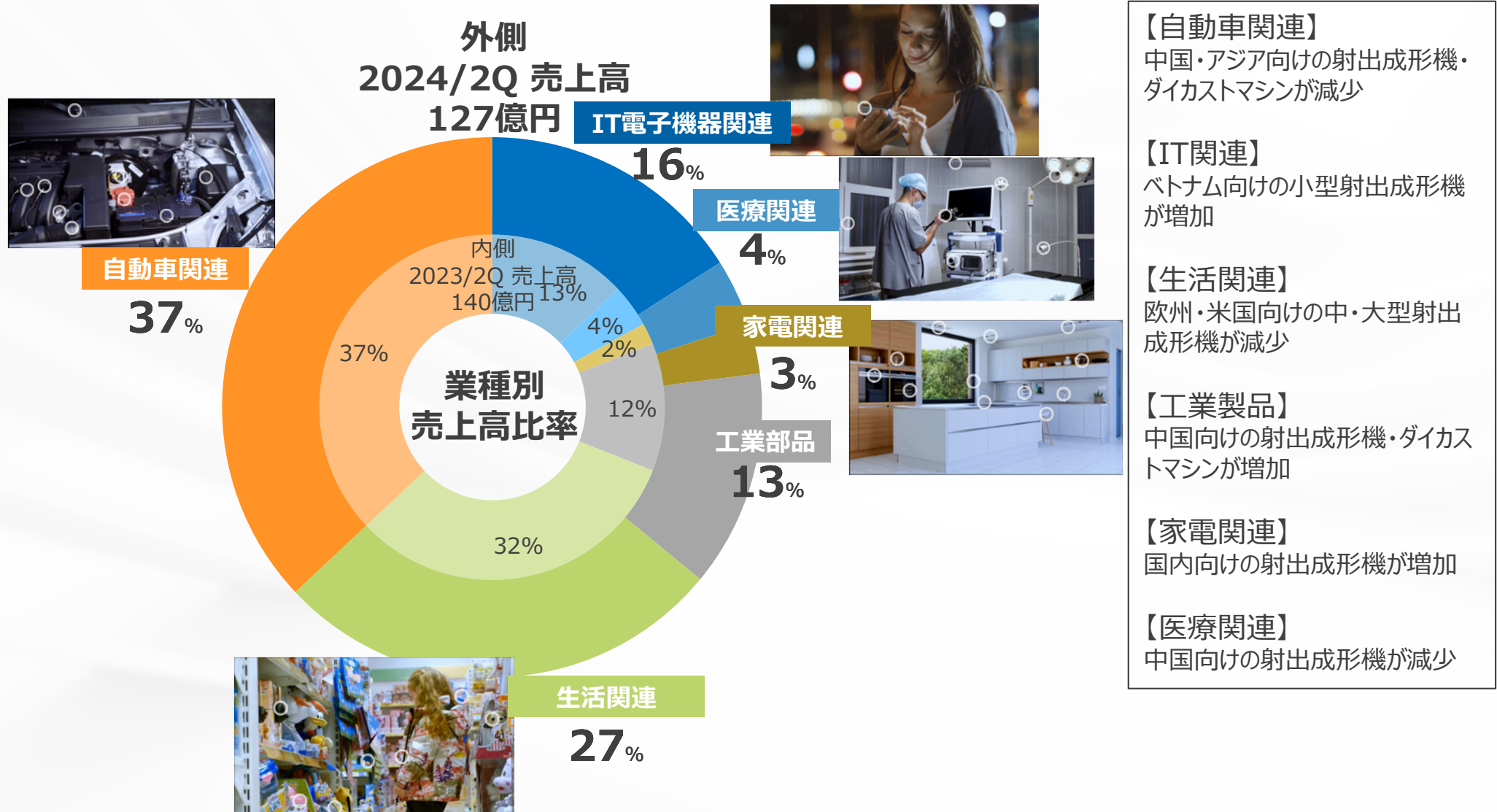
射出成形機 (単位:百万円)	2023/2Q 実績	構成比	2024/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	9,509	73%	10,642	71%	+1,133	+11.9%
(内、海外)	(6,340)	(67%)	(7,729)	(73%)	(+1,389)	(+21.9%)
売上高	10,201	73%	9,340	73%	△861	△8.4%
(内、海外)	(7,533)	(74%)	(6,126)	(66%)	(△1,407)	(△18.7%)
受注残高	5,605	70%	5,470	62%	△135	△2.4%

ダイカストマシン (単位:百万円)	2023/2Q 実績	構成比	2024/2Q 実績	構成比	増減	増減率
受注高	3,575	27%	4,279	29%	+704	+19.7%
(内、海外)	(2,620)	(73%)	(3,155)	(74%)	(+535)	(+20.4%)
売上高	3,857	27%	3,405	27%	△452	△11.7%
(内、海外)	(2,810)	(73%)	(2,274)	(67%)	(△536)	(△19.1%)
受注残高	2,385	30%	3,366	38%	+981	+41.1%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

業種別売上高の動向

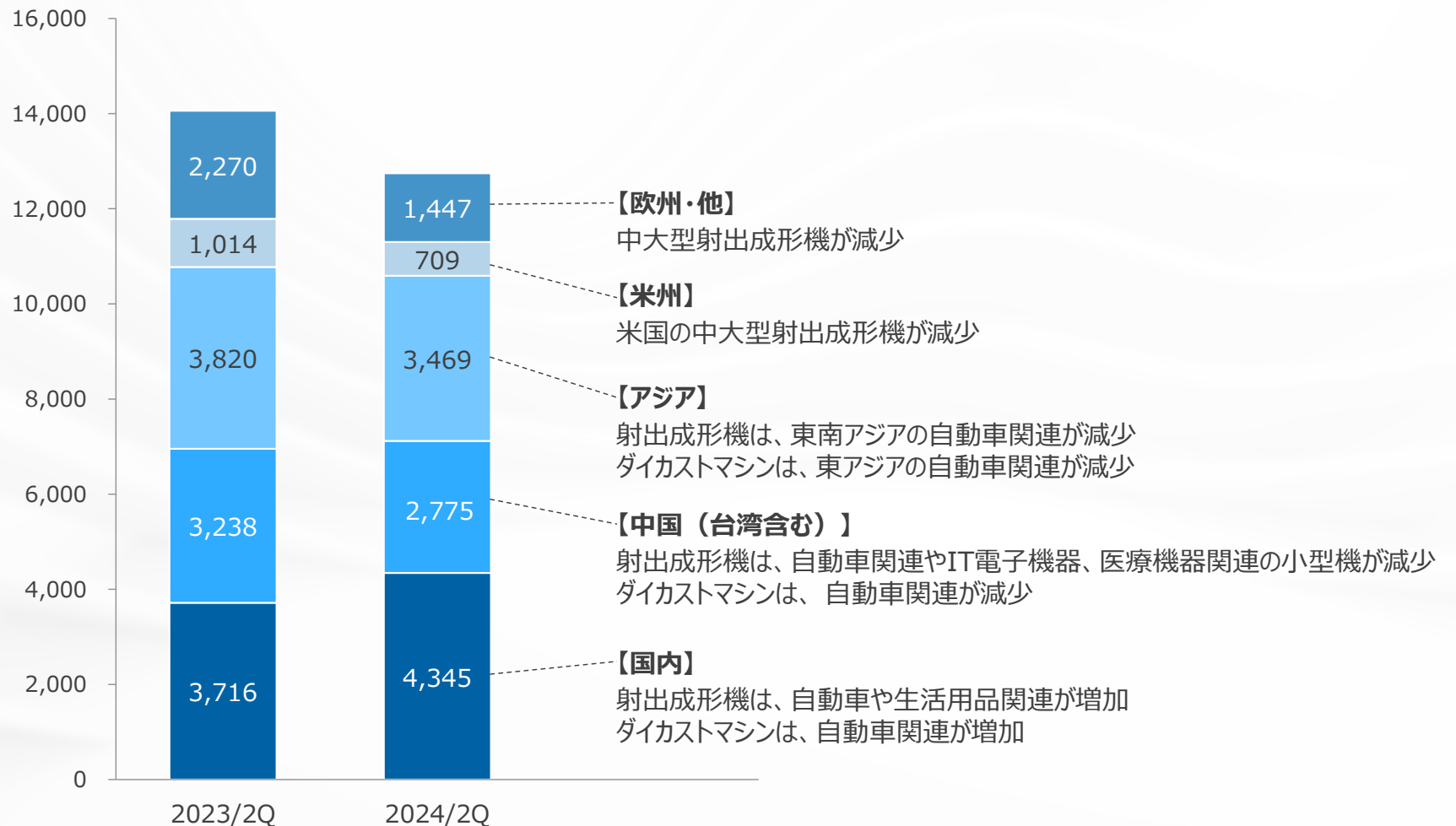
**I T 電子機器関連の比率は増加
生活用品関連の比率は減少**



地域別売上高の動向

国内は増加したが、中国、アジア、米州、欧州・他が減少

地域別売上高推移 (単位:百万円)



2. 2025年3月期 通期業績予想

2025年3月期 通期業績予想

2025年3月期の後半の市場の動向は、引き続き中国の自動車関連や欧米の生活用品関連は低調に推移すると予想され、売上高や生産量の減少で営業損益は△2.5億円を見込む

項目 (単位：百万円)	2023年度 実績	2024年度 予想	前期比 増減	前期比 増減率	2024年度 前回予想
受注高	26,537	33,000	+6,463	+24.4%	36,000
売上高	28,842	28,000	△842	△2.9%	31,000
営業利益	△119	△250	△131	—	300
営業利益率	△0.4%	△0.9%	△0.5P	—	1.0%
経常利益	△64	△80	△16	—	400
親会社株主に帰属 する当期純利益	△1,293	△350	+943	—	100
1株当たり 当期純利益	△62.99円	△17.04円	+45.95	—	4.87円
<参考> 為替レート(USD)	151円	145円	△6円	△4.0%	145円

製品別 受注高・売上高・受注残高予想

受注高は330億円（前期比+64億円）、売上高は280億円（前期比△8億円）
受注残高は116億円（前期比+50億円）を予想

射出成形機 (単位:百万円)	2023年度 実績	構成比	2024年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	19,451	73%	24,000	73%	+4,549	+23.4%
(内、海外)	(13,135)	(68%)	(17,800)	(74%)	(+4,665)	(+35.5%)
売上高	21,581	75%	20,200	72%	△1,381	△6.4%
(内、海外)	(15,481)	(72%)	(14,000)	(69%)	(△1,481)	(△9.6%)
受注残高	4,167	63%	7,966	68%	+3,799	+91.2%

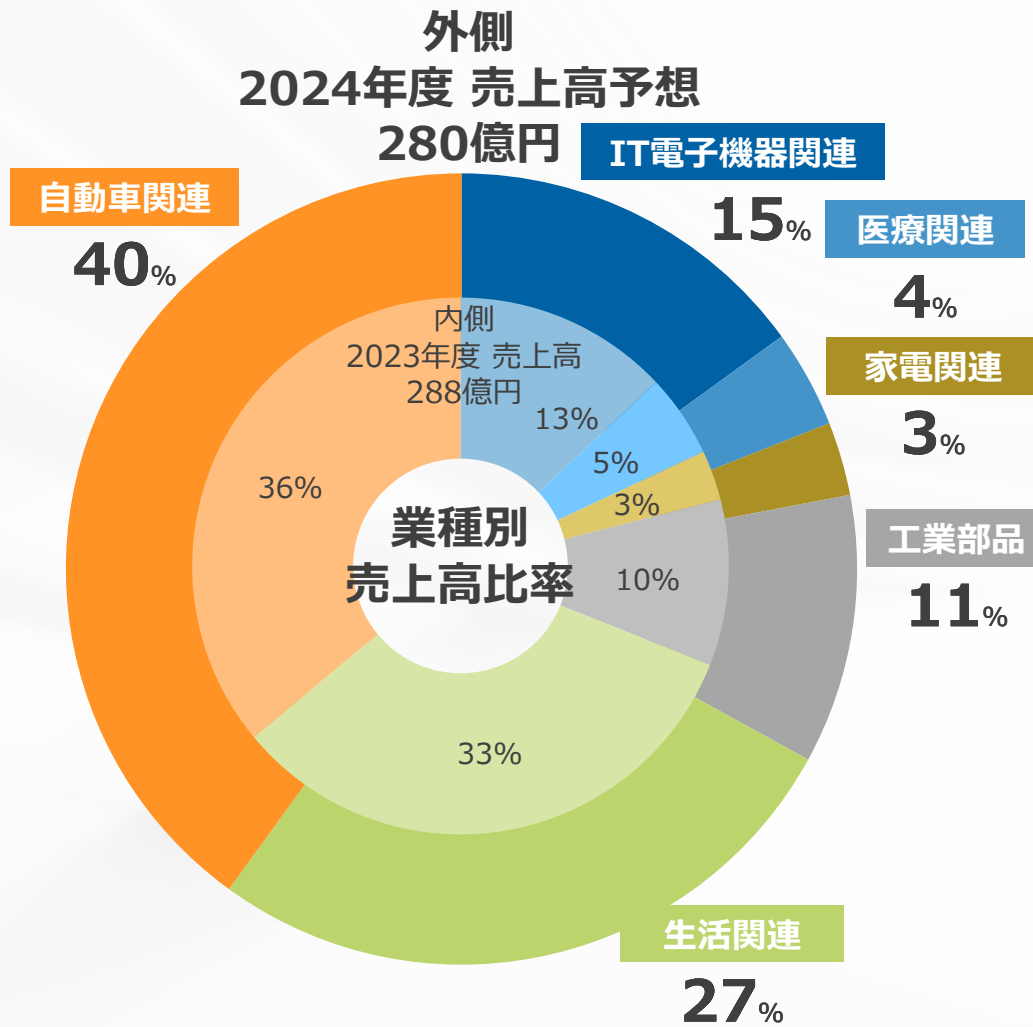
ダイカストマシン (単位:百万円)	2023年度 実績	構成比	2024年度 予想	構成比	増減	増減率
受注高	7,087	27%	9,000	27%	+1,913	+27.0%
(内、海外)	(4,978)	(70%)	(6,500)	(72%)	(+1,522)	(+30.6%)
売上高	7,261	25%	7,800	28%	+539	+7.4%
(内、海外)	(5,163)	(71%)	(5,500)	(71%)	(+337)	(+6.5%)
受注残高	2,493	37%	3,694	32%	+1,201	+48.2%

※構成比の欄は受注高、売上高、受注残高における射出成形機とダイカストマシンの構成比。それぞれの海外比率を括弧書き表記しています。

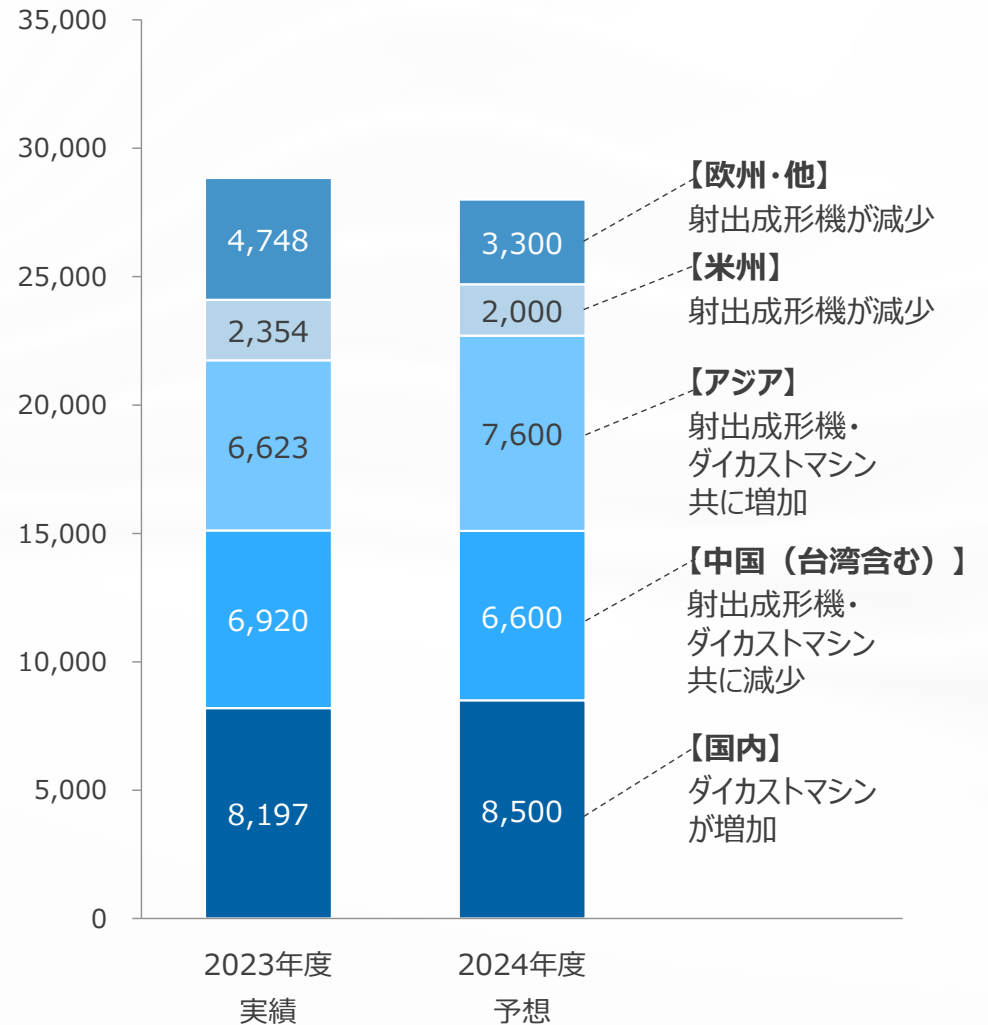
業種別・地域別 売上高予想

アジア地域での自動車関連は増加するが、欧米域別での生活用品関連が減少する見込み

業種別売上高構成予想



地域別売上高予想 (単位:百万円)

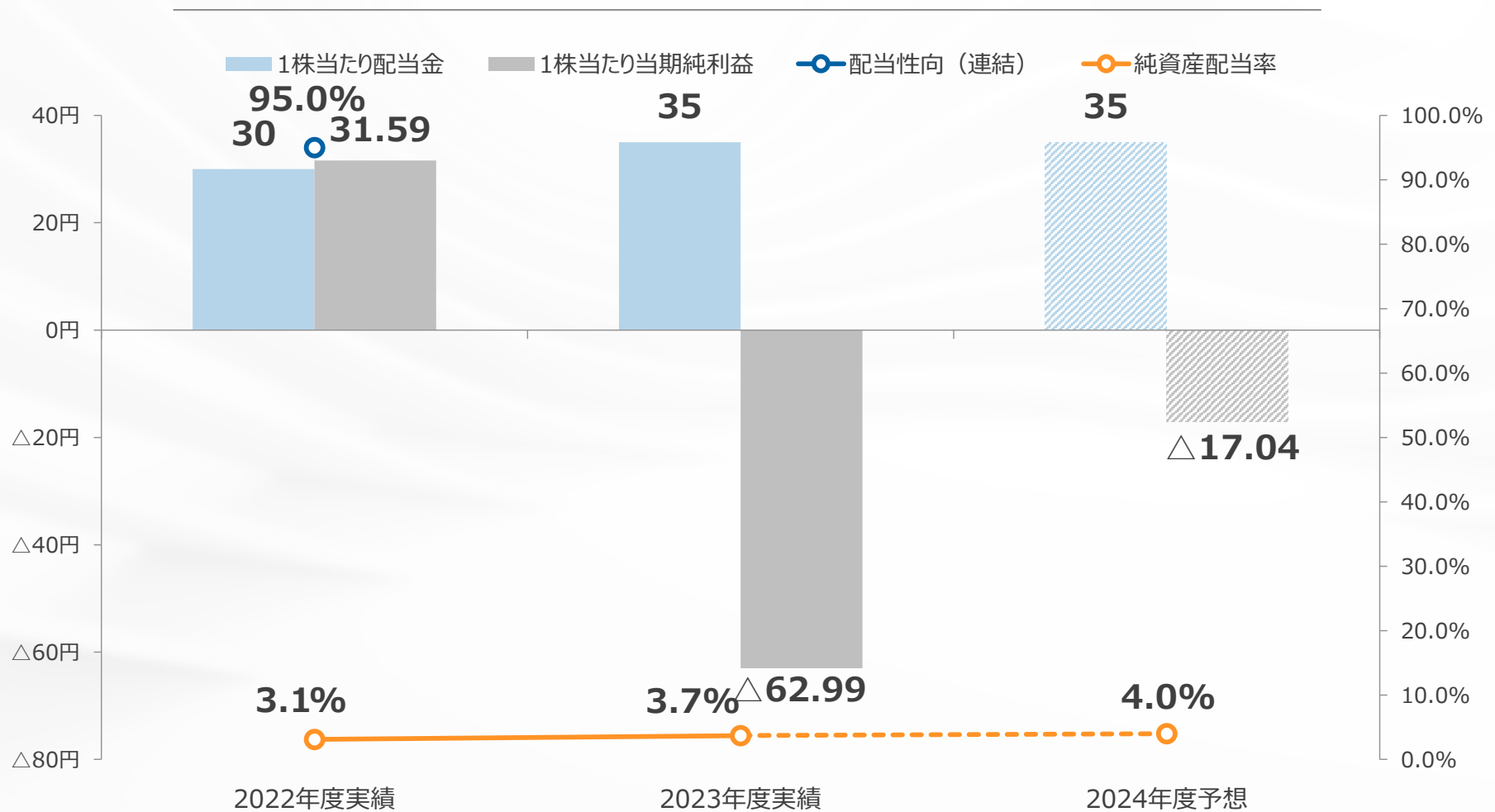


株主還元について

2024年度の間配当は、1株につき17円50銭を実施

2024年度の年間配当は、1株につき35円を予定

中期経営計画2026の財務戦略「BSマネジメント方針」に基づき、株主還元を継続



3. トピックス

トピックス① 新製品紹介

射出成形機 Si-7シリーズのスピノフモデル「Si-7GS series」(アジア向け限定)



Equipped with New Injection Unit

成形安定性向上 (新可塑化システム搭載)
Improved molding stability (With new plasticizing system)

S-HIN スクリュー搭載
S-HIN SCREW equipped

▶ 可塑化安定性向上
Improved plasticizing stability

S-TMC搭載
S-TMC equipped

▶ 成形ドライブモード
Molding drive mode



Basic performance

機械構造特性 The mechanical features

センタープルバック搭載 Center pull back available

▶ グローバル対応+作業性を追求
Global standard and pursuing ease workability

可動DPダブルローラサポート搭載
Double roller structure to the moving plate

▶ Siシリーズで実績のある機構を採用
Uses the mechanism proven in the Si-series

High functionality,
visually, easily,
and quickly

操作性向上 Improved operability

新制御システム
New control system

▶ SYSTEM800
SE搭載
SYSTEM800 SE equipped



Actions for the future

SDGs Environmentally friendly

国際規格 International standard

▶ ISO20430:2020
(対応規格 JIS B 6711:2021) (Corresponding standard JIS B 6711:2021)

環境対応 Environmentally friendly

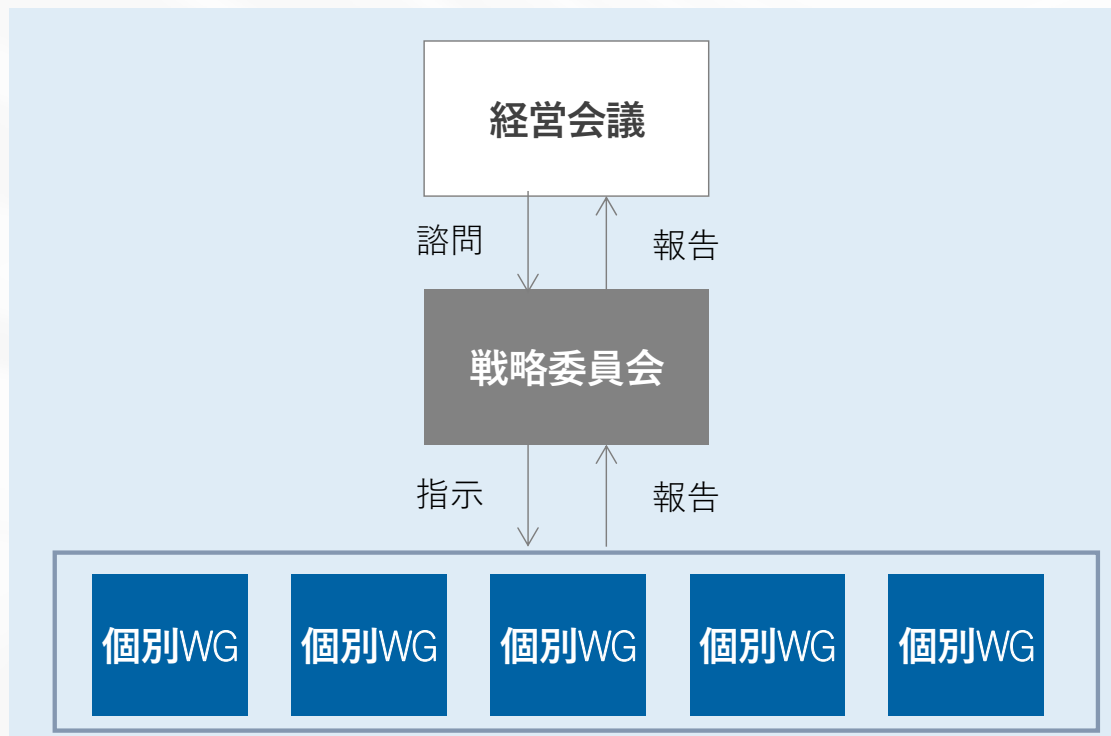
▶ プラスタージェリス採用で給脂量従来比90%削減
90% reduction in grease consumption from previous

トピックス② 戦略委員会の設置

中期経営計画の推進力向上及び重要性・緊急性が高い経営課題への対応を目的として、戦略委員会を設置し、2024年10月にスタート

戦略委員会の体制図

- 経営会議の諮問機関として「戦略委員会」を設置
- 戦略委員会の下部組織として「個別WG」を設置し、中期経営計画の推進力向上や重要性・緊急性が高い経営課題への対応を行う
- それぞれの個別WGは社内取締役又は執行役員が責任担当となり、テーマに応じて現場メンバーを参画させて推進



戦略委員会の概要

1. メンバー

- 委員長：代表取締役社長
- 構成員：社内取締役、執行役員
- オブザーバー：社外専門家（適宜）

2. 主な役割

- 中期経営計画の推進力向上・モニタリング
- 重要性・緊急性が高い経営課題への対応にかかる協議
- 個別WGの立ち上げ・モニタリング

個別WGの主なテーマ

1. 事業戦略関連
2. 人材戦略関連
3. 経営管理関連

4. Appendix

貸借対照表 (B/S)

資産の部 (単位:百万円)	24/3末 実績	24/9末 実績	増減	コメント
流動資産	21,912	23,051	+1,139	受取手形及び売掛金が8億円減少したが、棚卸資産が14億円増加、現金及び預金が6億円増加したこと等により、流動資産は11億円増加。
現金及び預金	6,167	6,799	+632	
受取手形及び売掛金	6,889	6,053	△836	
棚卸資産	7,548	8,948	+1,400	
固定資産	8,149	8,577	+428	有形固定資産が5億円増加したこと等により、固定資産は4億円増加。
有形固定資産	6,508	7,026	+518	
無形固定資産	397	346	△51	
投資その他資産	1,243	1,203	△40	
資産合計	30,062	31,628	+1,566	

負債・純資産の部 (単位:百万円)	24/3末 実績	24/9末 実績	増減	コメント
負債合計	11,478	13,320	+1,842	有利子負債が11億円増加、支払手形及び買掛金が1億円増加したこと等により、負債合計は18億円増加。
支払手形及び買掛金	4,393	4,581	+188	
有利子負債残高	2,260	3,360	+1,100	
純資産合計	18,584	18,308	△276	前期の期末配当、親会社株主に帰属する当期純損失に係る利益剰余金が減少したこと等により、2億円減少。
負債純資産合計	30,062	31,628	+1,566	

キャッシュ・フロー計算書

フリー・キャッシュフローは3億円の支出となり、前期比△8億円

(単位:百万円)	2023年2Q 実績	2024年2Q 実績	増減	変動要因
営業活動による キャッシュ・フロー	807	288	△519	売上債権の減少や固定資産の減価償却費などにより、2億円の収入。
投資活動による キャッシュ・フロー	△237	△603	△366	有形固定資産の取得などにより、支出が前期2億円から6億円に増加。
財務活動による キャッシュ・フロー	89	737	+648	長期借入れの収入などにより7億円の収入。
現金及び現金同等 物に係る換算差額	132	208	+76	
現金及び現金同等 物の増減額	792	631	△161	前期7億円のプラスから今期は6億円のプラス。
現金及び現金同等 物の期首残高	6,502	6,167	△335	
現金及び現金同等 物の期末残高	7,294	6,799	△495	67億円となり、前期から4億円の減少。

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

TOYO

Customers' Value Up

～お客さまの価値向上をめざす～

連絡先 東洋機械金属株式会社 経営企画室
TEL. (078) 942-2345 (代表)
FAX. (078) 943-7275
URL. <http://www.toyo-mm.co.jp>